

## 令和5年度 狭山市立 学校(幼稚園)学校関係者評価表

※ 学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について評価する。

※ 【評価の目安】

- A：よくできている。(90%以上)
- B：概ねできている。(85%以上)
- C：あまりできていない。(70%以上)
- D：できていない。(70%未満)

領域	番号	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員から 評価(文章表記)
			評価	説明	
学校運営全般	1	学校の重点目標が明確である。(保ア1)	A	・校長の学校経営方針に基づき、全教職員が学校運営に積極的に参画することができた。	・学校教育目標や目指す児童像など重点目標・方針等がわかりやすく示されていた。 ・大半の児童は学校が楽しいと感じており、業間休みでは異学年で遊ぶ姿も見られる。いじめに関しても聞き取り、フォロー、声を掛け合う姿も見られる。一部いじめに近いような結果もあり配慮していただきたい。 ・教職員の質が格別が良い。アットホームな学校の雰囲気さらに協力したくなる。 ・協議委員として来校する際、校内はよく整理整頓されているという印象である。 ・外周道路をはじめ、校庭はとてもきれいに清掃されている。機具・施設等の鍵の管理もしっかりとされている。
	2	児童生徒は、学校生活が楽しいと感じている。(保ア7)	A	・ほとんどの児童が学校に楽しく通っている。(保ア7:A49.1%B43.8%)しかし一方で、「友だちと仲良く」に関して、やや課題が残った。お互いを大切にす言葉遣いよりよい人間関係作りさらに力を入れていきたい。	
	3	教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。(自2)	A	・教職員は学校全体及び学年間で共通理解を図り、連携協力体制が機能していた。(自2:A+B96.3%)	
	4	清掃が行き届き、学校がきれいである。(自46)	B	・トイレ、流しの清掃は今年度課題が残った。衛生面に十分配慮していかなくてはならない場所である。今後も清掃の方法の見直し、教職員の見守り、見届けを徹底していく。	
	5	学校の施設・設備は安全に管理されている。(保ア5)	B	・施設管理、修繕に関しては日々行っており、突発的に起きたものに関しても関係部署や業者に連絡を取り、できるだけ遅延のないよう取り組んだ。	
学習	6	教師は、児童生徒が興味関心のもてる授業、わかりやすい授業を実施している。(保ア3)	A	・体験活動や児童の興味・関心を重視した学ぶ喜びを味わわせる授業を行っている。指導に関して保護者から90%以上の肯定的な評価をいただいた。	・学校訪問の際、教室環境や廊下の掲示物の工夫を観ることが出来た。学力の定着の観点からも、授業のまとめを子どもの言葉でまとめて頂きたい。 ・ネット環境のトラブルはないようであるが、探求的な学びにつながる指導の定着、情報機器の積極的な活用など、さらに研修を積んで頂きたい。小中連携を意識し(中学校と連携し)、プログラミング学習や今まで以上のALTの招聘は出来ないものか。 ・基礎基本は概ね身につけている。一部を除きほとんどのクラスが落ち着いて授業を受けていた。 ・補助教員の配置もされた。 ・家庭学習に関しては、学校としても力を入れて指導しているようだが、家庭との連携と保護者の自覚が必要である。
	7	児童生徒は、落ち着いて学習に取り組んでいる。(自35)	B	また、課題を明示して授業を行うこと、児童の言葉で1時間の授業のまとめを行うことに、この1年間徹底して取り組んできた。	
	8	児童生徒は、基礎的基本的な学力を身に付けている。(保ア8)	B	・学習の決まりに関しては、昨年・今年と評価が下がっている。引き続き学習規律の確立及び学びの土台作りを行う。(自35A+B88.5%)	
	9	児童生徒は、家庭学習の習慣を身に付けている。(自16保ア11)	D	・家庭学習はD(できていない)の保護者評価が少し減少した。自主的な探究心につながるような問いかけや課題提示について今後も研修していく。	
	10	児童生徒は、英語活動をととして積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。(自14)	A	・外国語及び外国語活動に関しては、教職員の評価A+Bが100%と高い評価であるが、児童一人一人に行ったアンケートでは9割をいかない学年もある。この差がなぜ起きているのか検証し、今後の指導に生かしていく。	

規律ある態度	11	児童生徒は、進んであいさつをしている。(保ア9)	B	・これまで課題であった「挨拶・言葉遣い」に関して肯定的な評価が80%まで達することができた。学校・家庭・地域の課題として共有しそれぞれの場所で、立場で取り組んできた結果である。今後も児童主体の「あいさつ運動」などを続け、定着させていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導上の問題を、学年で共通理解を図り素早く対応している点が素晴らしい。</li> <li>・訪問を通して、全般的に規律ある学校生活が送れている。</li> <li>・挨拶に関してはまだ課題が残るところもあるが、子供たちの変化が見られる。挨拶・言葉遣い・決まりを守るということに関して地域ぐるみで見守るという観点からも情報を共有し改善をはかっていきたい。</li> </ul>
	12	児童生徒は、場に応じた言葉遣いができている。(保ア9)	B		
	13	児童生徒は、時間を守って生活している。(自3)	A		
	14	児童生徒は、きまりを守って生活している。(自32)	A	・日課を守って活動できた。(自3:A+B92.6%)基本的な生活習慣の定着(自36A+B84.6%)に関しては昨年度より評価が低くなっている。落ち着いた学校生活が児童へどう良い影響を与えるのか、「友だちと仲良く」という項目の評価が若干下がったことへの影響はあるのかなど様々検証し、改善に努めていく。	
	15	教師は、自ら手本となり、規範意識を高めている。(自1)	A	・廊下歩行に関しては児童主体の取組の成果もあり、大きく改善した。	
健康・体力	16	学校は、児童生徒の体力を高めている。(自20)	A	・「にぎにぎタイム」を設定し、握力の強化に取り組んだ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休み時間には積極的に校庭に出て身体を動かしている様子が見られる。</li> <li>・手洗い等もよく身につけている。</li> <li>・体育的諸活動の実施、体育授業の充実、季節に応じた運動遊びの工夫等を図って児童の体力を高めて頂きたい。</li> <li>・何事も全ては健康から始まりませ。引き続き感染症対策には留意して頂きたい。</li> </ul>
	17	児童生徒は、体育や外遊びに意欲的に取り組んでいる。(保ア12)	A	・「なわとび検定」を児童を中心に取り組み、多くの児童が意欲的に検定に参加することができた。	
	18	児童生徒は、健康を意識した生活をしている。(自41)	A	・感染症予防に関しては、ここ数年の習慣が身につく、自分の健康を守る行動が定着している。今後も油断なく指導していきたい。	
地域との連携	19	学校は、教育活動に関する様々な情報を積極的に提供している。(保ア2)	A	・学校、教育委員会、地域活動等のお知らせをスクリーンでデータ配信している。情報の管理がしやすくなったと保護者からは概ね良い評価をいただいている。今後も活用の幅を広げたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の問題点を隠すことなく公開している。できる限りの手段で地域にも情報を提供している。</li> <li>・保護者、地域との協力は強くなってきている。</li> <li>・コミュニティスクールとして、学校運営協議会において今後の活動に前向きな話し合いがもたれている。</li> <li>・公共施設及びボランティア団体を積極的に活用している。</li> <li>・地域との関わりを大切にしたい学習を意図的・計画的に行って頂きたい。そのためには協議委員の皆さんで地域内の施設見学・訪問、人材の発掘などを話し合い、教育活動の充実を図っていきたい。</li> </ul>
	20	学校は、保護者や地域と連携・協力し、教育活動を行っている。(自48)	B	・PTA主導による保護者ボランティアが新たに立ち上がった。団体名を児童全体に応募し、児童会を中心に話し合い名称が決まった。児童と保護者(PTA)のつながりを感じる取組となった。まだ一部での活動となっているが、今後さらにボランティア活動の範囲を広げていく予定である。	